



特集

暑い夏を乗り越える！ 農作物を守る高温対策



「育てる喜び」を原動力に

今月の
表紙

すがわら ひろき
菅原 大暉さん(23)

盛岡市の都南地域で営農活動を展開する農事組合法人となん(以下、(農)とنان)には、正職員と季節雇用を含む約50人が在籍し、水稲や小麦、野菜の栽培を中心に、農地の管理から農作物の生産・販売まで幅広く手がけています。

(農)とنانで麦作の主担当として現場を支えているのが、地域未来部地域資源活用課に所属する入組3年目の菅原大暉さん。入組から1年間は先輩のもとで栽培技術やノウハウを学び、今では作業の進捗管理やスタッフへの作業

指示など、全体のマネジメントを担っています。

「実家は兼業農家で、昔は祖父が米を作っていました。が、今は父が野菜を育てています」と話す大暉さん。家族の姿に影響を受け、自然と農業を志すようになったという大暉さんは、岩手県立農業大に進学し、水稲を専攻しました。また、在学中から就農を見据え、岩手県主催の就農支援イベント「新農業人フェア」に参加し、(農)とنانのブースに何度も足を運んでいたといいます。「水稲だけ

一人ひとりの思いをカタチに
食農立国
JAいわて中央

『食農立国』とは、JAいわて中央管内で生産される農畜産物や地域のブランド化を目指した商標登録名です。JAいわて中央が目指す『食農立国』には、食を囲む人たちと、農業を営む人たちとの繋がりを大切にし、『その食卓の向こうに安全・安心で美味しい農畜産物と美しい農村の風景を提供し続けたい』という思いが込められています。

(農)となんでは「やわら姫」を栽培しています。柔らかさと口当たりの良さが特徴で、うどんなどの麺類に適した品種です



今年、(農)となんでは7月1日から小麦の収穫がスタートしました。エリアごとに分担して作業を進めます



「最初は慣れない機械作業に戸惑いましたが、今では使いこなせるようになりました」と話す大暉さん。コンバインに乗って刈り取り作業をこなします

目次

CONTENTS

未来へつなぐ食農立国	2
菅原 大暉さん(盛岡市)	
特集	4
暑い夏を乗り越える！ 農作物を守る高温対策	
NewsFile	8
ミニトマト栽培を学ぶ 農作業体験会 他	
営農情報	10
幼穂形成期から出穂期の管理について 他	
わくわく純情プランターReport	12
まちのスマイル	13
シリーズ「協同組合」を考える サン・フレッシュ都南さ おでつてくなんせ！	
インフォメーション	14
JAカードのお知らせ 他	
今月のレシピ	16
蒸しナスとツナのマリネ	



JAいわて中央のホームページでは、広報誌のバックナンバーを公開しています。
詳しくはこちら▶



ではなく、小麦や野菜にも挑戦できる環境に魅力を感じました」と振り返る大暉さん。卒業後は一度民間企業に就職しましたが、退職を機に、(農)となんに入組しました。

小麦の栽培は8月の耕起・施肥に始まり、9月の播種、春先の追肥や除草などの管理作業を経て、翌年の6月下旬から収穫を迎えます。中でも大暉さんが最も重要だと強調する作業が「赤カビ防除」です。「収量だけではなく、品質や安全性にも大きく影響す

るため、適期防除が欠かせません」と話す大暉さん。小麦の栽培面積が約40haにも及ぶ(農)となんでは、作業のタイミングを見極める判断力がいっそう重要になります。

また、小麦の反収向上を目標に掲げる大暉さんは「収量を上げるには、播種のタイミングが何よりも重要です。播種が遅れると、初期生育が不安定になり、全体の管理にも影響してしまいます」と話します。今年は春先の追肥時期の天候に恵まれたことから、

ここ数年で最も順調な生育だといいい、品質・収量ともに大きな期待をもっています。

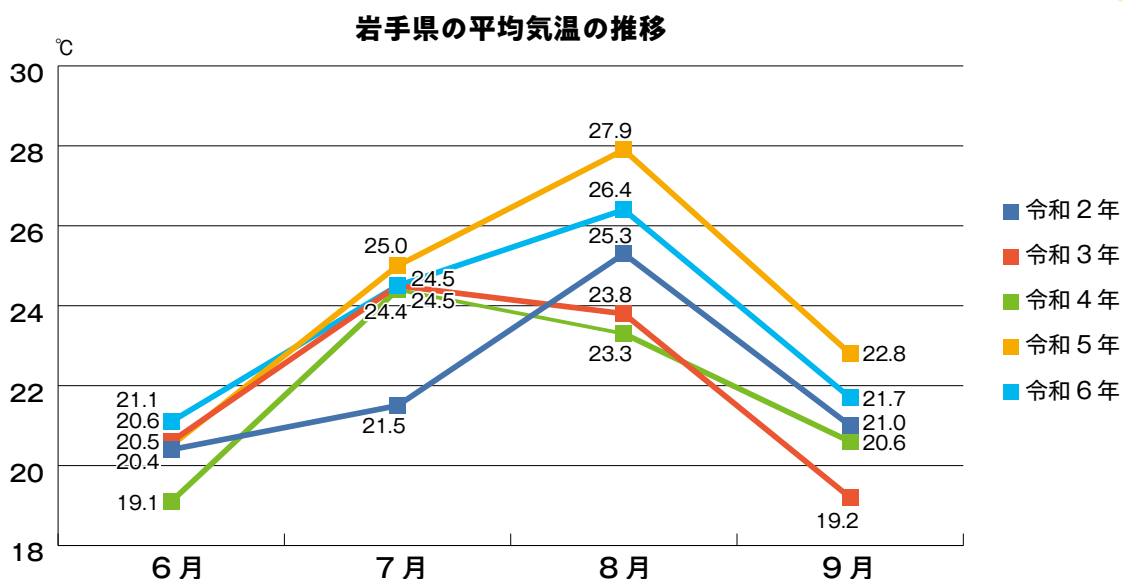
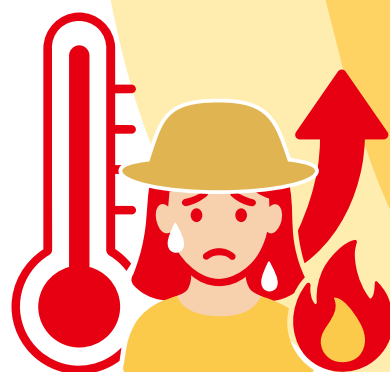
「農業の魅力は作物が育ち、収穫を迎えるまでの過程を見届けられること。一つひとつの作業を終えるたびに達成感があり、やりがいにつながっています」と話す大暉さんの目標は、(農)となんでの経験を糧に、将来は実家に戻り、米づくりに取り組むこと。日々の仕事を通じて、知見を広げ、技術を磨きながら、充実した日々を送っています。



暑い夏を乗り越える！ 農作物を守る高温対策

年々厳しさを増す夏の暑さ。農業現場では、気温の上昇が農作物の品質や収量に影響を与え、農業経営にとって大きなリスクとなっています。特に近年は、真夏日・猛暑日が連続するなど、従来通りの栽培方法だけでは対応しきれないケースも増加し、気候変動に適応した栽培管理が求められています。

今月の特集では、高温対策に取り組む現場の実践例や、生産者の声をご紹介します。



参考:気象庁ホームページ「過去の気象データ」

気象庁の発表によると、昨年は全国的に気温の高い状態が続き、日本の年平均気温偏差は+1.48℃を記録しました。これは、これまで最も高かった令和5年の+1.29℃を大きく上回り、明治31年の統計開始以降、最も高い値となりました。岩手県においても近年、平均気温が年々上昇傾向にあり、農業現場への影響も深刻化しています。

県内では、かつて冷涼な気候を活かした農作物の栽培が盛んでしたが、近年は夏場の高温をはじめとする異常気象により、農作物への影響が拡大しています。品質の低下や収量の減少、病害虫の増加など、多くの課題が浮き彫りとなっており、特に米の胴割れや白未熟粒、果実の日焼け、野菜の着果不良が顕著です。

今後、持続可能な農業経営を維持するためには、気候変動を見据えた新たな栽培技術の確立や品種の導入、働き方の見直しなど、中長期的な取り組みがますます重要となってきています。

米穀



高温障害による胴割粒を精米して砕けたもち米



(左) 米の一部が白く濁る白未熟粒 (右) 整粒

水稻（出穂期～登熟期）

- 出穂期は水を切らさないようにして、3～4cmの浅水管理を行いましょう。出穂期以降は間断かんがいで下葉の枯れあがりを防ぎます。
- 常時かん水管理は避けましょう。根腐れや稲体の消耗を招き、登熟をスムーズに進める妨げとなります。
- 高温時の水管理も間断かんがいを基本としますが、水の入れ替え頻度を高めて、水温・地温を下げるともに、根に酸素を与えて活力維持を図りましょう。また、入水は夜間に行いましょう。地表温の昼夜の温度差が大きくなり、品質低下の抑制などが期待できます。
- 間断かんがいが実施できない場合は常に土壌が適度に湿っている状態に保ちましょう。土壌の乾燥は品質低下につながるため十分に注意しましょう。
- 完全落水は排水の悪い水田で出穂後30～35日、排水の良い水田で出穂後35～40日頃を目安とします。落水後に降雨が少なく、田面が乾きすぎるような場合は、収量の減少や品質の低下につながるため、走り水などを行い、乾かしすぎない管理をしましょう。

出穂後の水管理

出穂～出穂後20日まで

3～4日入水 → 1～2日落水

出穂後20日～出穂後40日まで

2～3日入水 → 3～4日落水

生産者の声

昨年や一昨年は、もち米の1等米比率が60%台と低く、品質の確保が課題となっています。もち米は、高温下では粒が小さくなりやすく、さらに稲が倒伏すると発芽のリスクが高まります。そのため、倒伏防止を含めた管理がこれまで以上に重要になっており、肥料の施用量やタイミングにも十分な注意が必要です。また、水温や地温を下げるための水管理の重要性も増えています。

ここ数年は気温の上昇によって収穫時期が大幅に早まっています。昨年や一昨年は8月下旬には刈り取りが始まって

おり、刈り遅れなどによる胴割れに注意が必要です。また、稲体の消耗を抑えるためには、葉の色など稲の状態をよく観察しながら、適期の追肥も重要です。さらに、高温の影響で雑草の生育が早く、雑草対策も以前より負担が増していますが、カメムシ防除につながるため、継続的な対応が欠かせません。

もち米生産部会では、毎年7月と8月に生育調査を実施しており、地域ごとの管理状況や生育の違いを確認でき、非常に参考になります。生育調査の結果は、JA施設の稼働スケジュールの判断

滝浦 新悦 さん



材料としても活用され、地域全体の調整にも役立っています。今後も、高温に対応した適切な水管理や追肥、除草体系を確立し、品質の安定と収量確保を目指していきたいと考えています。



もち米生産部会役員による圃場巡回(昨年の様子)

野菜



対策



ピーマンの日焼け果



ミニトマトの高温障害（花落ち）

きゅうり

- 暑さの厳しい時期は、追肥は一度に与えず、樹勢を見ながら少しずつ、回数に分けて行いましょう。

芯焼け対策 アイスバリア 500倍（できれば単剤）

しおれ軽減 プロテックα 300倍

※プロテックαは曇天から晴天になるタイミングで散布しましょう

ズッキーニ

- 通常の黒マルチを使用すると、株元のマルチ穴から熱風が出て、樹勢の低下を招く恐れがあります。マルチ穴を広げることで、熱風の影響を軽減することが可能です。また、通路かん水を行うことで地温の上昇を抑制できます。可能な環境が整っている場合は、ぜひ実施しましょう。

ハウス果菜類

（トマト・ミニトマト・ピーマン・ナス）

- 強い日差しがハウス内に差し込むと、熱を含んだ空気がハウス内（特に上部）にたまりやすくなります。その結果、着果不良や障害果が多発する恐れがあります。まずは、換気を行い、風通しを良くしましょう。換気扇や肩換気が効果的です。
- 遮熱塗布剤や遮光幕を効果的に使用することで、ハウス内の温度上昇を抑えることができます。遮光幕を使用する際は、作物の種類によっては徒長など生育に影響を及ぼす場合があるため、遮光する時間帯に注意が必要です。

生産者の声

夏の高温に対応するためには、春先の管理こそ大切だと感じています。根張りを良くするためには、定植時期に応じて黒マルチや白黒マルチを使い分け、地温管理に配慮することが重要です。また、定植後の手かん水など基本の栽培管理徹底も不可欠です。

高温下では、花落ちによる着果不良やグリーンバックや日焼け果といった生理障害が起きやすくなりますが、そのためには、ハウス内の温度を正しく把握し、環境に応じた管理が重要だと考え、自作した温度計でハウスの温度を確認

するなどの工夫をしています。また、高温に強い品種の選定も今後の課題だと感じており、現在模索しているところです。



Bluetooth機能が搭載された温度計を活用。ハウス内の温度データをスマートフォンで受信し、いつでも確認できます

さらに、高温対策の一つとして、栽植密度を適度に上げることも有効です。葉

藤澤 輝さん



の蒸散による温度調節機能が働きやすくなり、草勢の低下を防ぎながら光合成能力の維持が期待できます。ただし、密度を上げすぎると通気性の悪化や徒長のリスクも伴うため、自分のハウスに適したバランスを見極めることも重要です。また、今年から全てのハウスで、遮熱塗布剤「レディーヒート」と外気導入機を導入しました。「レディーヒート」は、熱を遮りながら光合成に必要な光はしっかり通す点が画期的だと感じています。今後も試行錯誤を重ねながら、最適な管理を追求していきたいと考えています。

果樹



対策



リンゴの落果



リンゴの日焼け果

土壌水分の急激な変化による樹体の水分ストレスによっても高温障害・日焼け果の発生が助長されるため、高温乾燥が続く場合はかん水を行いましょう。

リンゴ

- 小さな徒長枝はできるだけ残し、大きな枝や果実に直射日光が当たらないよう工夫することで、果実焼けを防ぐことができます。
- 果実の温度が急に上がるのを防ぐため、着色管理（葉摘みなど）は午前中早い時間を避けて果面温度が十分に上昇してから行いましょう。特に高温が続く日は、葉を取りすぎないように注意が必要です。
- 過去に収穫前の落果があった品種には、落果防止剤の散布が有効です。ただし、散布によって収穫期が早まる場合があるため、使用時期に注意しましょう。

ブドウ

- 果房が高温になりすぎないように、過度な新梢・副梢の切除や葉の取りすぎには注意しましょう。棚内を明るくしすぎると、果房が直射日光にさらされやすくなります。特に暑い日は、通常よりも葉を1~2枚多めに残すなど、遮光を意識した管理を心がけましょう。
- シャインマスカットでは日当たりの良い場所にある房は果皮の黄化が早く進むため、日当たりの強い房にはカサかけを行うことで果皮の黄化を防ぐことができます。

西洋なし

- 夏から秋にかけて高温が続くと収穫の適期が遅れる傾向にあります。極端に早採りしてしまうと、追熟後も風味が損なわれる恐れがあります。収穫の際は、果実内のデンプンの消失状況を確認しながら、適期を見極めて丁寧に収穫を進めましょう。

生産者の声

リンゴ栽培では果実の日焼けが多く発生しています。これに対し、日差しの強い時間帯に葉摘みや玉回しなどの着色管理を行わないことや、果実の着果位置を調整し、果実に日光が集中しすぎ



葉摘みや玉回しなどの着色管理の時間帯を工夫

ないように工夫をしています。また、我が家では早生品種に対して、寒冷紗かんれいしゃをかけることで、直射日光の影響を軽減するなどの対策も行っています。

一方で、夜温が下がらず、昼夜の寒暖差が小さいため、果実の色づきが進みにくいことも課題です。このため、今後は着色しやすい品種の導入も視野に入れながら、部会内でも品種構成の方向性について議論を進めていく必要があると感じています。

また、去年は秋以降も気温が高く推移したこともあり、果実の肥大が収穫直前

藤村 智さん



まで続きました。今後は、肥料設計の検討も重要な課題になると感じています。加えて、昨年や一昨年は落果が多く確認されたため、リンゴの落果を抑制する効果のある「落果防止剤」の種類や散布時期の見直しも進めています。さらに、ここ数年は、これまであまり確認されていなかった病害虫の発生も見られるようになっており、新たなリスクとして注視しているところです。

今後も地域全体で情報共有を重ねながら、安定生産と品質維持に取り組んでいきたいと考えています。



摘葉作業をする参加者ら



ミニトマト栽培を学ぶ 農作業体験会

YouTube



ＪＡは６月２４日、農業の仕事に興味がある人を対象とした農作業体験会を開きました。管内から９人が参加し、盛岡市猪去の（株）大道古川農園のビニールハウスでミニトマトの摘葉作業などを体験しました。

参加者は生産者の古川喜斎さんから作業のポイントについて説明を受けた後、実を落とさないよう気を付けながら葉を取り除きました。参加者は「判断が難しいこともあったが楽しかった。トマト栽培が知りたかったので過程が分かってよかった」と感想を寄せました。



がん患者を支援 岩手ホスピスの会へタオル寄付

ＪＡ女性部は６月２５日、抗がん剤治療の副作用に悩む患者などに向けタオル帽子を送る活動をしている盛岡市の市民団体「岩手ホスピスの会」に各支部から募った未使用タオル７１７枚を寄付しました。

同部を代表して鎌田都美子部長が同会の吉島美樹子事務局長らに手渡し、吉島事務局長は「タオルを寄付してくれる方たちの思いが活動につながっていく。皆さんの取り組みに感謝している」と話し、鎌田部長は「これからも継続的に協力していきたい」と話しました。



吉島事務局長（左から３番目）らにタオルを贈る鎌田部長（右から３番目）



衝突時の衝撃に息をのむ生徒ら



交通事故の危険性を体感 自転車交通安全教室

ＪＡとＪＡ共済連岩手は６月１６日、岩手県警察本部と連携し、自転車交通事故の危険性について理解を深めることを目的として、紫波町立紫波第三中学校で自転車交通安全教室を開きました。

全校生徒約１３０人が見守る中、プロのスタントマンが自転車の危険走行や車との衝突事故、大型車の内輪差による巻き込み事故などを迫真の演技で再現。参加した生徒は「自分が被害者にも加害者にもならないよう交通安全を心がけたい」と話しました。

・SDGsへの ・取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



受賞を喜ぶJA役職員ら



矢巾カントリーエレベーターが 農水省農産局長賞に輝く

JAの矢巾カントリーエレベーター（以下、CE）はこのたび、全国農協CE協議会主催「優良農協CE表彰」において、全国第2位に相当する農水省農産局長賞を受賞しました。同表彰は5年に1度実施され、施設の運営管理や米麦の品質管理等において他の模範となる優良な農協CEを称えることを目的としています。

6月4日、東京都千代田区のJAビルで開かれた表彰式には、佐々木正春専務やJA担当者らが出席。全国715施設から選出された8施設の一つとして表彰されました。



生育初期の管理と病虫害防除を確認 キュウリ現地指導会

JAは6月12日・13日、管内4会場でキュウリの現地指導会を開き、生育初期の管理方法や病虫害防除のポイントを確認しました。

12日に紫波町平沢で開いた指導会には、生産者ら13人が参加。株元かん水を継続して活着を促進することや、株元から40cm程度以下の高さから出るわき芽や花芽を除去して樹勢を安定させることを確認しました。また、病虫害防除では、梅雨時期に発生する病虫害の特徴や対策方法について情報を共有しました。



担当者の説明を聞く参加者ら



「昔ながらの知恵と今どきの発酵～岩手の山がくれる新しい味～」と題して講演が行われました



地域資源をいかした商品開発を学ぶ レディースセミナー

JA女性部は6月14日、紫波支所で令和7年度「レディースセミナー～Beginning～」を開き、同部員ら140人が参加しました。

講演では、盛岡市にある浅沼醤油店・代表取締役の浅沼宏一さんが講師を務め、地域の素材を組み合わせた商品開発の取り組みや、人とのつながりの重要性にまつわるエピソードを紹介。参加した部員は「静かな語り口ながら強い信念のある講演に感動した」「時代に寄り添って開発していく姿がよく分かった」と感想を寄せました。

米穀

幼穂形成期から出穂期の管理について

今月の担当

紫波地域営農センター米穀課
副調査役 作山 順



7月は、水稻が穂を作り始める時期となります。これからは水管理が重要になりますので、生育に応じた水管理を行いましょ。

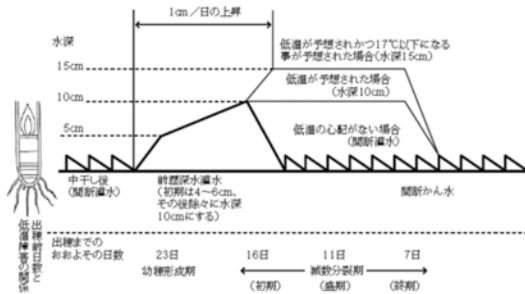
1. 幼穂形成期の水管理

常時4〜6cmの水管理を行い、幼穂形成期の数日前から水深を徐々に高めて幼穂を保護します。

また、減数分裂期の低温時にスムーズに深水管理に移行できるよう、あらかじめ水位・水温を確保しておく目的もあるため、低温予報の有無によらず基本管理として実施しましょう。

2. 減数分裂期の水管理

減数分裂期は、出穂の15日前（7月下旬頃）に始まります。この時期に17℃以下



【図1】幼穂形成期～減数分裂期の水管理

低温に遭遇すると、充実した花粉ができず、粳が稔らない症状（障害不稔）が発生する場合があります。低温が予想される場合は、水深を15cm以上の深水管理とし、幼穂を保護しましょう。低温の心配がない場合は、根を健全に保つために間断灌水を行いましょ。【図1】

3. 追肥（穂肥）の施用

この時期の追肥は穂肥と言いい、穂の粳を充実させることを目的として行います。追肥の時期について、うるち品種は出穂25日前（7月中旬頃）とし、ヒメノモチは出穂15日前（7月下旬頃）の減数分裂期とします。

追肥は葉色や生育を確認して行いますが、追肥時期に異常低温が続く場合は、施肥量を減らすか時期を遅らせましょ。また、基準より葉色が濃い場合は、減数分裂期にずらすか、穂肥を中止ましょ。【表1】

4. 穂いもち病対策

穂いもち予防として、うるち品種には「ゴウケツ剤」を使用します。葉色が濃い、過繁茂、軟弱徒長、堆肥を多く施用した圃場や、前年に穂いもち病が発生した圃場では、穂いもち病が発生しやすいので、必ず防除を行いましょ。

5. 出穂期の水管理

出穂期は水を必要とする時期になります。この時期に乾燥すると開花や受粉の障害が出て不稔となることもあることから、圃場内の湿度を保つためにも、3〜4cmの浅水管理を行います。出穂

期以降は、水を切ったり入れたりの間断灌水で下葉の枯れ上がりを防ぎながら登熟を促しましょ。近年は登熟期の高温により、割れ粳や胴割れ粒、心白粒（未熟・腹白）の被害粒が落等の原因となつています。高温時は、間断灌水や水の入れ替えを行い、強制登熟を防ぎましょ。入水は夜間に行いましょ。

6. カメムシ防除

斑点米カメムシ被害は米の品質に大きな影響を与え、落等の要因になりますので、適期に防除を行いましょ。発生源の畦畔、雑草地、牧草地等の草刈りを地域一斉に行いましょ。

また、水田内に雑草（ヒエ・ホタルイ・シズイ等）が発生している場合は、雑草の出穂前に草刈りを行いましょ。

品種名	穂首分化期 -35日	幼穂形成期 -25日	減数分裂期 -15日	幼穂形成期の葉色基準	
				カラースケール	SPAD葉色計
ひとめぼれ	×	◎	○	4.0〜5.0	35〜40
銀河のしずく	◎	○	×	4.7〜5.4	36〜43
ヒメノモチ	○	×	◎	4.8〜5.4	39〜43

【表1】追肥の時期と葉色の目安 ◎:最重点 ○:生育状況を考慮して判断 ×:不適

農作業中の熱中症に注意しましょう！

気温が高くなり、農作業中に熱中症になる人が増えています。屋外だけではなく、ビニールハウス内でも長時間作業をすると熱中症の危険性が高まります。

予防のポイント

- のどが渇いていなくても20分おきに休憩し、毎回コップ1～2杯以上を目安に水分補給しましょう
- 屋外では帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう
- 単独行動は避け、作業は2人以上で行うか、時間を決めて水分・塩分補給の声かけを行うなど、定期的に異常がないか確認し合うようにしましょう
- ビニールハウス等の施設内の風通しを良くしたり、断熱材を活用しましょう
- 「熱中症警戒アラート」発表時には、屋外での作業を控えるか、作業時間を短縮しましょう

熱中症が疑われる場合

- 手足がしびれる、めまい、頭痛などの症状がみられたら、すぐに作業を中断しましょう
- 涼しい場所へ移動し、水分や塩分を補給しましょう
- 衣服をゆるめて風通しをよくしたり、濡らしたタオルなどで体を冷やし体温を下げましょう
- 応急処置をしても症状が改善されない場合は医療機関を受診しましょう



農作業中の熱中症から命を守るために、適切な熱中症対策を講じて安全に作業を行いましょう

子牛市場情報（令和7年6月19日・中央家畜市場）

区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
雌	紫波	12	548,000	381,000	457,917	297	-16,554
	矢巾	10	575,000	354,000	485,200	297	-28,800
	盛岡	7	551,000	391,000	448,714	295	-26,000
	J A 計	29	575,000	354,000	465,103	296	-12,474
	市場計	136	693,000	315,000	454,265	295	-31,500
区分	地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比
去勢	紫波	24	689,000	410,000	534,167	333	-66,583
	矢巾	13	583,000	474,000	531,923	352	-84,410
	盛岡	8	724,000	503,000	600,375	345	-7,225
	J A 計	45	724,000	410,000	545,289	340	-59,111
	市場計	177	724,000	299,000	530,661	327	-76,442

紫波地域農業気象協議会から

気象情報 ホームページの お知らせ



紫波地域農業気象協議会では気象観測ロボット施設を活用し、紫波地域の気象観測データや気象庁発表の降水量予測などの情報をリアルタイムで提供しています。

気象情報ホームページURL

<http://www.shiwa-tenki.jp/>

※スマートフォンからもご覧いただけますのでご利用ください。





田植え機やトラクター、フォークリフトの試乗体験



農業用ドローンを見学する参加者ら



ミニトマトやJAにまつわる〇×クイズに挑戦！
正解者10人にプレゼントが贈られました

わくわく 純情プランター Report



DAY1

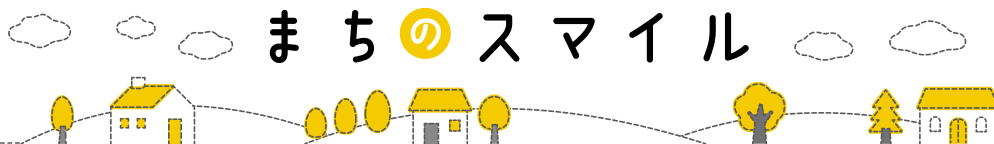
**ミニトマトの苗をプランターに植えよう！
農業機械を見て、触って、体験！**

JAは6月7日、県内JA統一活動「わくわく純情プランター」の第1回目のイベントを、紫波支所で開きました。管内の児童29人とその家族が参加し、ミニトマトの苗植え体験や農業機械の見学などを行いました。

開会にあたり、佐々木雅博組合長は「体験を通じて、農業の良さを理解してもらえる機会になればと期待している」とあいさつ。参加者はJA担当者らの指導のもと、親子で協力しながらミニトマトの苗を植え付けました。作業後には、田植え機やトラクター、フォークリフトの試乗体験や農業用ドローンの飛行を見学しました。参加した児童は「家でもプランターで野菜を育てているので、仲間が増えてうれしい。収穫が楽しみ」と感想を寄せました。

イベント
概要





なかよし
ファミリー

盛岡市・猪去

ふるかわ よしなり

みずき

古川 喜斎さん(41) 瑞希さん(44)

㈱大道古川農園を営む喜斎さんと瑞希さんは、ミニトマトやネギ、サツマイモなどを栽培しています。「効率よく作業を進め、安定した収益を確保する方法を模索していきたい」と話し、「今年の冬は焼き芋屋に挑戦してみたいです」と意欲を見せる喜斎さん。瑞希さんは「いつでも夫婦でフォローし合える体制づくりを目指しています」と微笑みます。

来年結婚10周年を迎えるお二人のモットーは「子どもたちが呆れるくらい仲良ししていること」。喜斎さんと瑞希さんは「『ありがとう』と言葉にして伝え合うことを大切にしています」と笑顔を見せています。

シリーズ



Vol.4

「協同組合」を考える

協同組合の定義

「人」が組織の基本

協同組合とは「共通の経済的・社会的・文化的なニーズや願いをかなえるために、自発的に集まった人びとが作る自治的な組織」と定義されています。組合員が共同で所有し、民主的に運営する事業体であり、出資額に関わらず「一人一票」の原則で平等に意思決定に参加します。これは、政府や企業から独立し、「人」を中心に据えた仕組みであり、資本を重視する株式会社とは根本的に異なります。

さらに、協同組合の目的は、組合員自身のニーズや願いをかなえることであり、株式会社のように利益を株主へ分配することや、特定非営利活動（NPO）法人のように社会全体に貢献することとは異なります。

協同組合は、事業を通じて組合員のニーズを満たす組織です。運動や啓発を目的とする団体とは異なり、実際に市場で活動する事業体として、効率的・効果的な経営によって組合員に貢献することが求められます。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



2025年国際協同組合年(IYC2025)に関する情報はこちらから▲



サン・フレッシュ都南さ

おでっくなんせ!



高橋店長

今月の店長のおすすめ!

お盆セール



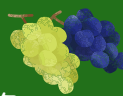
8月9日(土)から13日(水)までの5日間、「お盆セール」を開催いたします。期間中は、新鮮な切り花をはじめ、お盆用品やお供え向けの加工品、旬の野菜や果物を豊富に取り揃えます。また、セール期間中は通常より早い朝7時開店で、皆さまのご来店を心よりお待ちしております!

イベント情報

●ぶどうまつり
8/23(土)～

10月上旬

※天候または生育状況により変更になる場合がございます。



サン・フレッシュ都南

盛岡市下飯岡21-180 TEL 637-6801 営業時間9:00～18:00

CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、
今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛に
お送りください。正解者の中から抽選で、JAやサン・フレッシュ都
南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月の
テーマ

暑い日に食べたくなるもの

応募締切 7月31日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央
「JAんぷ7月号お楽しみクイズ」係

＼コチラから／



ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶

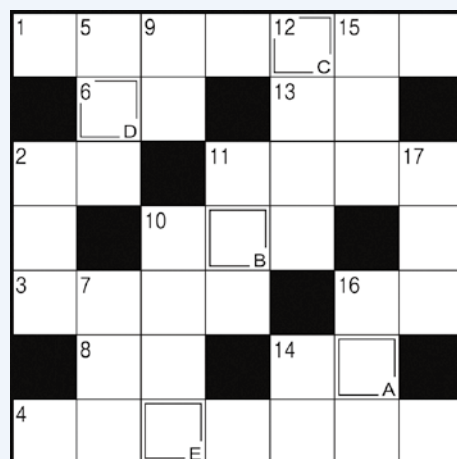
E-mail

kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報は、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。
当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

6月号の答え

「ウメシュ」



→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ① 夏休みの朝に通ってスタンプをもらいます
- ② 早起きは三文の——
- ③ サーファーが乗ろうとするもの
- ④ アルコール分が含まれていない飲み物
- ⑤ 疑問文では上げることが多い
- ⑥ 葛まんじゅうの中に包み込まれているもの
- ⑦ デジタル時代になり——の文字を見る機会が減りました
- ⑧ 騎手が乗っていません
- ⑨ 観光、スクール、二階建てといえば
- ⑩ 鳥の体に生えるもの
- ⑪ うな重と一緒に——吸いを注文した

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ② 3人組のこと
- ⑤ 閻魔大王がいるところ
- ⑦ ハワイ州の州都、ホノルルがある島
- ⑨ 浴衣を着て——を締めた
- ⑩ ショッピングモールには多くの——が入っている
- ⑪ 左右対称に映ります
- ⑫ メロンの生産量が日本一である県
- ⑭ 糸を通して布を縫います
- ⑮ 1とその数自体しか約数を持ちません
- ⑯ 俵万智の第一歌集「サラダ——日」
- ⑰ 阿寒湖で育つものが有名な藻類



おたより紹介 テーマ▶ 万博開催にちなみ 発明したいもの



SF小説とドラえもののポケット
が好きな私は、やっぱり「どこでも
ドア」を発明したいな。それがあつ
たら、4月に生まれた孫にすぐに
会いに行けるから。

(佐比内・S／64歳)

私が発明したいものは、天気予報
が絶対はずれない機械です。雨が
降らないと言っていて降ったりし
ていて、洗濯物がずぶ濡れになっ
て大変な目にあっているのです。

(北松園・N／34歳)

今、軽自動車に乗っていますが、洗
車したときいつも思うのが、犬が
濡れたときブルっとかわいく水切
りするみたいに、車もブルっと水
切りしてくれるといいな、と思っ
ています。誰か発明して！

(北日詰・H／73歳)

飼っている猫の鳴き声が、そのま
ま人間の言葉に変換してくれる首
輪。

(二日町・A／56歳)

ドラえもののタケコプター。渋滞
に巻き込まれず、通勤が楽になり
そう。

(岩清水・S／49歳)

私が発明したいものは、ハンディ
タイプの草刈り機です(ハンディ掃
除機の半分くらいの大きさ)。土が
付いてくるときとか、根の深い草花
壇とか狭い場所で使えたら最高
ですね！

(北日詰・C／70歳)

理事会報告

6月定例理事会が6月30日、
紫波支所で開かれ次の事案につ
いて決議されました。

1 JAバンクに対する「JAいわ
て中央不祥事再発防止策
(令和7年5月)」の取組状
況報告

2 2025デイスクロージャー
誌の発行

3 理事の個別報酬額の決定
4 理事専門委員会委員の選
任

5 固定資産取得(太田グレード
アップ倉庫・太田第2ライセ
ンター用地)

6 令和7年度不良債権処理
方針

7 利益相反取引の承認
8 令和7年度補助事業実施
計画

お詫びと訂正

6月号の記載に誤りがありま
した。お詫びして訂正いたします。

【4ページ特集】

〈誤〉藤澤清美さん(盛岡地域)

〈正〉鈴木一吉さん(盛岡地域)

役員手帳



米の適正価格維持を
目指して

代表理事専務
佐々木 正春

令和7年5月29日第26回通常総代会が矢巾町文化会館田園ホールで開催され、総代404人の出席を賜り全議案を原案通り可決いただき、心より感謝を申し上げます。

今期から始まる第九次中期3カ年計画には取組方針として1「農畜産物の安定供給と農業・農村の保全・維持」、2「JA経営基盤の維持と組合員組織強化」、3「協同の精神に基づく協同組合の価値・役割向上」の3方針を掲げ、役職員一丸となって創意工夫を重ねながら取り組んでまいります。

昨今、「令和の米騒動」に端を発し、政府による備蓄米の放出対策に関連してJAを批判する報道が一部見受けられます。来る7月20日には、参議院議員選挙の投開票日を迎えます。こうした状況下において、正しい農政の理解とJAの役割を認識した国会議員の存在が、政府与党においてより一層重要であると感じております。

今後も、輸入米への過度な依存による脆弱な食料安全保障に陥ることのないよう、再生産可能な適正価格の維持を目指し、地域の米生産体制の確立に努めてまいります。

INFORMATION

8月・9月は
JA直売所でJAカードを
ご利用いただくと

ご請求時
10%割引!

管内の対象店舗
サン・フレッシュ都南

対象期間 令和7年8月1日(金)～9月30日(火)
※一部対象外の店舗・施設や商品・サービスがございます

まだJAカードをお持ちでない方は今すぐご入会!

JAバンク口座をお持ちの方は
WEBから
<https://www.jacard.cr.mufg.jp/ad/tst/>

JAバンク口座をお持ちでない方は
アプリから
口座開設と同時に
カンタン手続き
<https://www.jabank.jp/ja/appplus/>

お近くのJA店舗で直接
お申し込みいただけます。
店舗で
JA

対象店舗一覧

詳しくはお近くのJAいわて中央窓口まで、お気軽にお問い合わせください
紫波支所 ☎676-3619 矢巾支所 ☎697-6888
都南支所 ☎638-0075 盛岡支所 ☎659-0616

**参加者
募集中!**

ちゃぐりん親子工作教室
「回る回るてるてるぼうず」と
「鬼さんキャッチ」を作ろう!

日時 令和7年8月1日(金) 9時～

会場 紫波支所パーフルパレス

対象者 JA管内の小学生(保護者同伴)

参加費 500円/1家族

申込締切 令和7年7月25日(金)

お申し込み・お問い合わせ 生活推進部生活推進課 ☎673-7468

法務省からのお知らせ 戸籍にフリガナが記載されます

令和7年5月26日に改正戸籍法が施行され、戸籍の記載事項に氏名のフリガナが追記されることになりました。

本籍地の市区町村長から、戸籍に記載される予定のフリガナが通知されます。通知のフリガナに誤りがあれば市町村の案内に従って届出をしてください。誤りがない場合は、通知のとおり戸籍に記載されますので、届出は不要です。戸籍のフリガナ制度について詳しくは法務省ホームページをご覧ください。

詳しくは
こちら

詐欺にご注意ください!

フリガナの届出に手数料は一切かかりません。また、届出をしなかったとしても罰則や罰金はありません。金銭を要求するものは全て詐欺です。



This month's recipe.

新鮮食材で
楽しく
クッキング

今月のレシピ

170杯目



蒸しナスとツナのマリネ

材料(2人分)

ナス……………3本(約250g)
ツナ(油漬け)……………小1缶

【A】

しょうゆ……………大さじ1
梅干し……………小1個
オリーブ油……………大さじ1/2

シソ……………5枚

作り方

- ① ナスはへたを落として縦にしま模様になるようピーラーで2、3カ所皮をむき、一口大の乱切りにする。
【A】の梅干しは種を取って刻んでおく
- ② レンジ可のボウルに①のナスを入れ、水にくぐらせて水気を軽く切る。そのままボウルにツナと【A】を入れてラップをし、レンジ(600W)で2分加熱する。軽く混ぜてさらに2分加熱し、刻んだシソをあえたら出来上がり。塩味は梅干しの塩分濃度によるので味見をして調整する

編集後記



佐々木

「今月のレシピ」で紹介した「蒸しナスとツナのマリネ」。食物繊維が豊富なナスは自律神経を整えてくれるといわれ、夏バテ防止にとっても良い野菜です。アレンジとしてオリーブ油をごま油などに変えたり、ショウガを加えたりするのもおすすめ。栄養たっぷり旬の野菜を上手に取り入れて、暑さに負けない体を作りましょう。



小野寺

年々厳しさを増している、夏の高温。農業現場では、従来の管理だけでは追いつかないという声が聞かれる一方、すぐに解決できる課題ばかりではなく、手探りの対応が続いているのも現状です。それでも、日々の経験や工夫を積み重ねていくことが、将来的な対策の基盤となるはず。今年の特集が、今年の対応や来期の参考になれば幸いです。

最新の情報は
SNSやHPを
ご覧ください



@ja_iwatechuoh



@ja_iwatechuoh



@ja_iwatechuoh

